

クリスチャン・ツイメルマン

ピアノ・リサイタル



© Bartek Barczyk

Krystian Zimerman

Piano Recital

2023年12月4日(月) 19:00開演
7:00p.m., Monday, December 4, 2023 at Suntory Hall

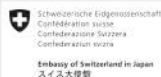
2023年12月13日(水) 19:00開演
7:00p.m., Wednesday, December 13, 2023 at Suntory Hall

サントリーホール

[主催] ジャパン・アーツ

[後援] 駐日ポーランド共和国大使館 / ポーランド広報文化センター
在日スイス大使館

[協力] スタインウェイ・ジャパン / ユニバーサル ミュージック



ショパン：夜想曲 第2番 変ホ長調 Op.9-2

F. Chopin: Nocturne No.2 in E-flat major, Op.9-2

夜想曲 第5番 嬰へ長調 Op.15-2

Nocturne No.5 in F-sharp major, Op.15-2

夜想曲 第16番 変ホ長調 Op.55-2

Nocturne No.16 in E-flat major, Op.55-2

夜想曲 第18番 ホ長調 Op.62-2

Nocturne No.18 in E major, Op.62-2

ショパン：ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調 Op.35「葬送」

F. Chopin: Piano Sonata No.2 in B-flat minor, Op.35

第1楽章：グラヴェーヘッドピオ・モヴィメント	1st mov.: Grave – Doppio movimento
第2楽章：スケルツォ	2nd mov.: Scherzo
第3楽章：レント、マルシュ・フュネーブル	3rd mov.: Lento, Marche funèbre
第4楽章：フィナーレ：プレスト	4th mov.: Finale: Presto

* * *

ドビュッシー：版画

C. Debussy: Estampes

1. 塔	1. Pagodes
2. グラナダの夕べ	2. La Soirée dans Grenade
3. 雨の庭	3. Jardins sous la pluie

シマノフスキ：ポーランド民謡の主題による変奏曲 口短調 Op.10

K. Szymanowski: Variations on a Polish Folk Theme in B minor, Op.10

アンダンテ・ドロローソ・ルバート	Andante doloroso rubato
主題：アンダンティーノ・センプリチェ	Tema. Andantino semplice
第1変奏：メノ・モッソ	Var.1. Meno mosso
第2変奏：アジタート	Var.2. Agitato
第3変奏：レント・メスト、マ・ポコ・アジタート	Var.3. Lento mesto, ma poco agitato
第4変奏：アレグロ・モルト・アジタート	Var.4. Allegro molto agitato
第5変奏：アンダンティーノ	Var.5. Andantino
第6変奏：アンダンテ・ドルチッシモ	Var.6. Andante dolcissimo
第7変奏：ピウ・モッソ	Var.7. Più mosso
第8変奏：マルチャ・フーネブレ	Var.8. Marcia funebre
第9変奏：ピウ・モッソ（アレグロ）	Var.9. Più mosso (Allegro)
第10変奏：フィナーレ、アレグロ・ヴィーヴォ	Var.10. Finale. Allegro vivo

【クリスチャン・ツイメルマン 2023年日本公演スケジュール】

11月4日(土)【柏 崎】	柏崎市文化会館アルフォーレ	主催：柏崎市文化会館アルフォーレ〔(公財)かしわざき振興財団〕
11月22日(水)【鹿児島】	川商ホール(鹿児島市民文化ホール)	主催：(公財)かごしま教育文化振興財団(川商ホール)
11月25日(土)【福 山】	ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ	主催：(公財)ふくやま芸術文化財団 ふくやま芸術文化ホール、広島ホームテレビ
11月30日(木)【名古屋】	愛知県芸術劇場コンサートホール	主催：CBCテレビ
12月2日(土)【横 浜】	横浜みなとみらいホール	主催：神奈川芸術協会 協力：横浜みなとみらいホール
12月4日(月)【東 京】	サントリーホール	主催：ジャパン・アーツ
12月6日(水)【水 戸】	水戸芸術館	主催：(公財)水戸市芸術振興財団
12月9日(土)【西 宮】	兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール	主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター
12月13日(水)【東 京】	サントリーホール	主催：ジャパン・アーツ
12月16日(土)【所 沢】	所沢市民文化センター ミューズ アークホール	主催：(公財)所沢市文化振興事業団



©Bartek Barczyk

クリスチャン・ツイメルマン (ピアノ)

Krystian Zimerman (Piano)

ピアノという楽器を熟知した、緻密で完璧な演奏により、多くの巨匠たちと共演してきた現代最高峰のピアニスト。

ポーランド生まれ。音楽家だった父親が友人らと毎晩、音楽に興じるのを聴いて育った。5歳からピアノの手ほどきを受け、7歳でポーランドのピアニスト、アンジェイ・ヤシンスキに師事し、本格的に音楽を学んだ。1975年、弱冠18歳で「ショパン国際ピアノコンクール」で優勝。翌年、ドイツ・グラモフォンよりレコード・デビューを果たし、ヘルベルト・フォン・カラヤン、レナード・バーンスタイン、小澤征爾ら多くの巨匠と共演。「人生で出会ったもっとも興味深い音楽家」と評する指揮者で作曲家のバーンスタインとは15年以上にわたり、たびたび共演。2018年のバーンスタイン生誕100周年の際、彼の交響曲第2番『不安の時代』を世界の主要都市で演奏。

ショパン没後150周年(1999年)の前年には、ポーランド出身の音楽家で編成した「ポーランド祝祭管弦楽団」を結成。ショパンのピアノ協奏曲の公演を精力的に行った。また、ベートーヴェン生誕250周年(2020年)には、指揮者のサイモン・ラトルと共に、この楽聖のピアノ協奏曲を全曲再録音した。1978年以來たびたび来日し、2003年には東京にも自宅を構えたほどの親日家。「ピアニストは楽器に興味をもつべきだ」が持論。自ら調律し、組み立てるなどピアノのメカニズムや音響学に精通し、作品解釈を極めることが、精緻で繊細な演奏を支えている。

フランスのレジョン・ド・ヌール勳章受賞(2005年)、ポーランドにおける民間人の最高勳章である、星付きコマンドルスキ十字勳章(Polonia Restitua Commandeur Cross with Star)(2013年)など、栄誉ある名誉博士号や勳章を受賞。2022年には第33回高松宮殿下記念世界文化賞音楽部門を受賞。本年10月4日にクラシック界で最も権威のある賞の一つである英『グラモフォン賞2023』「録音賞(ピアノ部門)」を「シマノフスキ:ピアノ作品集」で受賞。

ショパン：夜想曲より

ポーランドのワルシャワ近郊に生まれたフレデリック・ショパン(1810-49)の作品は、大半がピアノ曲だった。彼の天才的な創作力から生み出された数多くの名曲のなかで、夜想曲(ノクターン)は21曲ほど残されている。ショパンならではの繊細優美でロマンティックな味わいに満ち、従来の夜想曲の表現性を高めた作品となっているが、さらに、その歌謡的な性格は、ロマン派のピアノ曲における特色のひとつにもつながる。即ち、展開部を伴うソナタのような規模は求めず、旋律美が優先となるのである。今回は、次の4曲が演奏される。

第2番 Op.9-2：アンダンテ、変ホ長調。1830年～31年に作曲。ショパンの最も有名な夜想曲。そのロマンティックで甘美なメロディーは、のちにポピュラー音楽としてアレンジされ、映画「愛情物語」のテーマ曲にも用いられた。

第5番 Op.15-2：ラルゲット、嬰へ長調。1830～31年に作曲。この曲も、特に人気の高い夜想曲であり、優美で神秘的な曲想が印象深い。

第16番 Op.55-2：レント・ソステヌート、変ホ長調。1842～43年に作曲。即興的な書法で作られ、ショパン晩年の作風が色濃く出ている。

第18番 Op.62-2：レント、ホ長調。1846年に作曲。簡潔な曲想に始まるが、洗練された和声配置や、中間部での細かな動きなど、晩年のショパンの熟練した手法が目される。なお、Op.62としてある2曲は、ショパンの最後の夜想曲であり、彼の存命中、最後に出版された。

ショパン：ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調 Op.35「葬送」

ショパンは、ピアノ・ソナタを3曲残した。1839年に完成された第2番は、「葬送」または「葬送行進曲つき」とも呼ばれる。幅広い表現が盛り込まれると共に、古典的なソナタの伝統を打破するような大胆さが注目されるこの作品は、4楽章から成るが、第3楽章の葬送行進曲だけが先に作られており、この悲痛な楽章をもとに全曲が構想されたと考えられている。

第1楽章：変ロ短調。楽章全体の暗く不安な気分を集約したような、グラーヴェの序奏に始まった後、「ドッピオ・モヴェメント(2倍の速さで)」と指示された主部に入り、ソナタ形式で展開する。

第2楽章：スケルツォ。変ホ短調、3部形式。不気味な雰囲気の主部と、明るく甘美な中間部から成り、最後に中間部の楽想が回想される。

第3楽章：レント、マルシュ・フュネーブル。変ロ短調、3部形式。単独でも有名な葬送行進曲であり、暗く重苦しい葬送の行列が表現される。中間部では、天上の音楽のような美しいメロディーが現れる。

第4楽章：フィナーレ：プレスト。変ロ短調。短いながらも、不思議で独創的なフィナーレ。調があいまいな響きなど、時代を先取りする書法が目される。

ドビュッシー：版画

フランスの作曲家、クロード・アシル・ドビュッシー(1862-1918)は、繊細で鋭い感性によって、水や光などの自然界、また、さまざまな風物を、独自の響きと書法で描き出した。1903年に完成された「版画」は、彼がピアノ曲において新しい様式を確立した最初の曲集とされており、次の3曲から成る。

第1曲「塔」：「ほどよく活発に」。1889年のパリ万国博覧会で、ジャワのガムラン音楽を聴いたときに受けた感銘に基づいて、作曲されたという。五音音階による東洋風の主題に始まり、それが微妙に形を変えて繰り返されるなかで、独特の雰囲気をかもし出す。

第2曲「グラナダの夕べ」：「ハバネラの動きで」。舞曲ハバネラのリズムに乗せて、スペインの古都グラナダの夕暮れを描く。スペインを訪れたことのなかったドビュッシーの、豊かな想像力と創造性が光る1曲。

第3曲「雨の庭」：「明瞭に、そして速く」。細かな分散和音が多用された技巧的な曲だが、先の2曲と同じく描写的でもある。その主題は、「ねんねよ、坊や」と「もう森へは行かないよ」という、フランスの二つの童謡の旋律に基づいている。

シマノフスキ：ポーランド民謡の主題による変奏曲 口短調 Op.10

ポーランドのティモシュフカ(現ウクライナ)に生まれたカロール・シマノフスキ(1882-1937)は、叙情的でロマンティックな作風を特色とする作曲家。ワルシャワ音楽院在学中に書きあげられ、師匠であるジグムント・ノスコフスキに献呈された「ポーランド民謡の主題による変奏曲」は、彼の最も初期の作品であり、ショパンやワーグナー、スクリャーベの影響を受けつつ、自己の作風を模索している時代のピアノ曲である。1900年に着手され、約5年をかけて1904年に完成されただけあって、書法が緻密で、高度な技巧を要する難曲であり、充実した規模を持つ力作となっている。そして、この変奏曲は、1906年2月にワルシャワで、ゲンリッヒ・ネイガウスのピアノによって初演された。ちなみにネイガウスは、シマノフスキの親戚であり、現代のピアニストのスタニスラフ・ブーニンの祖父である。

曲は口短調により、短い序奏に続いて、素朴な主題が示される。この主題は、ポーランド南部の山岳地方の民謡に基づいているという。その後、全部で10の変奏が、切れ目なく続く構成となっているが、なかでも第8変奏と第10変奏は、特徴的である。冒頭から第5変奏までは、口短調で書かれ、第6変奏でロ長調に転じる。同じくロ長調の第7変奏から続く第8変奏は、ト短調の「葬送行進曲」である。「クアジ・カンパーナ(鐘の音のように)」という楽想表示が記され、まさに甲いの鐘の音が響くこの第8変奏は、1937年、ワルシャワでのシマノフスキの葬儀において、オーケストラによって演奏された。そして、第9変奏で再びロ長調となり、最後の第10変奏に入る。中間部に「ミット・フモール(ユーモアをもって)」と指示されたフガートの部分を含む、長大なフィナーレであり、スケールの大きな展開を見せながら、高らかに全曲を閉じる。

【アーティストサポート】を通して、アーティストたちの活動をご支援いただき、ありがとうございます。
時や国を超え「生きる力」を与えてくれる文化・芸術に、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

ご支援をいただいた個人ならびに企業・団体の皆さま

<2023年度年間サポート>

F.A Y.A T.I 今井良成 S.U 植原由起子 S.U M.E A.O K.O S.O 河村はるみ K.K
木村美明 M.K 小室秀夫 新貝康司 N.S M.S 関根一祿 A.D 土屋涼子 トゥルーラブ真智子
トゥルーラブ真凜 N.N 中島 和 中野和枝 中村尚義 中村美穂 T.H M.H 平山美由紀 藤野盾臣
細沼康子 M.H 松尾芳樹 松田 香 真野美千代 三橋祐太 J.M H.M S.Y 渡部伸子
TDK株式会社 MEDIHEAL & SEKIDO コンツェルトハウス・ジャパン by 株式会社キタマ
株式会社ソーシャルキャピタルマネジメント 株式会社ロジックアンドエモーション
ライフプラン株式会社 Heart of the Earth株式会社
ナレッジワーカーズインスティテュート株式会社 株式会社RINABO きづきアセット株式会社
株式会社青林堂 日本パデレフスキ協会淡路
(匿名希望 22名)

<館野泉パースデープロジェクト>

Y.A 阿部将任・登美子 新井京子 池田光世 一柳吉子 A.I 遠藤一秀 大嶋早苗 大嶋浩美
大谷恵美子 S.O 奥田三華 小畑裕子 木全恵美子 久保春代 M.K 黒川智恵美 黒住彰子
斉藤久子 坂井和 佐々木暁子 菅原佳世子 鈴木早苗 R.T 田口雅子 田邊英利子 土谷美保子
永作稔 中村恭子 中村康江 K.H 羽生賢次 林雄嗣・鈴子 福島晶子 堀田高秀 松田純子
三上美智恵 光永育 K.M 山家七恵 S.Y K.Y 吉岡玲子 吉田和充・淳子
館野泉ファンクラブ東京 館野泉ファンクラブ東北 タビオラの会 日本セザック協会 有限会社ムジカーザ
NPO法人 Mプロジェクト スオミ・ピアノ・スクール研究会
(匿名希望 19名)

<ショパン・ピリオド楽器プロジェクト>

S.O トゥルーラブ真智子
(匿名希望 3名)

<ニュークラシックプロジェクト>

浅岡尚子 岩井陸雄 上原啓子 小田島容子 K.K 久保千聖 雲然祥子 小池美喜 篠崎啓史 I.S T.S
トゥルーラブ真智子 トゥルーラブ真凜 T.N 長谷部 宏行 秦勝重 T.H 林 路郎 細沼康子 牧野佳那
松下泰之(マティビ) S.Y
(匿名希望 14名)

2023年11月15日現在 敬称略/匿名希望の方は記載しておりません

ご支援についての詳しい内容は、どうぞ下記へお問い合わせください。

株式会社ジャパン・アーツ アーティストサポート係 Tel.03-3499-7720

(平日11:00~17:00 年末年始を除く)

アーティストサポートの
詳細はこちらを
ご覧ください。

